

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第94号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com
 http://www.kanagawa-iguren.com

中小企業条例活用の第二段階

芝 忠

本年4月1日から「**横浜市中小企業振興基本条例**」が施行されました。昨年4月の「**神奈川県中小企業活性化推進条例**」について県内では2例目です。おりしも、参議院選挙の直前、政府が「**中小企業憲章**」を閣議決定しましたので、「**条例づくりやその活用運動**」にとっては**第二段階**とも言うべきところにきました。

企業誘致や金融政策だけを定めた「中小企業条例」が、1979年の東京都墨田区「中小企業振興条例」で一変し、「**中小企業の振興が地域経済の活性化の柱**」として、「**中小企業がなくてはならない存在**」を明確化、地方自治体の様々な政策を中小企業との関連でとらえる「振興条例」が1990年代に都内各区に広がり、2000年代に府県レベルに広がっています。現在13県に及んでいます。

まだまだ「条例づくり」は普及すると思いますが、今、肝心なことは制定された「**条例の活用**」です。神奈川県内でもカタチだけで何になるの?といった疑問が寄せられています。先進的な取り組みを行っている墨田区や北海道帯広市などでは、**地域ぐるみの運動と行政の全体的な前向きの姿勢**が特徴です。横浜市は現在、国の「緊急雇用創出事業」を活用した市内製造業の大規模な調査を実施していますが、同時に条例に基づき、市内中小業者の声を聴くために、18区それぞれに「**業者懇談会**」や「**振興協議会**」を設ける必要があります。区の予算を見ると「産業振興」の文字があるのは都筑区1区のみです。緑区に農業振興があります。

県の「活性化条例」を生かすために、**各地域に「活性化推進懇談会」を設置すること**、市町村に対しては条例づくりとともに、政令市に対して区ごとに「**条例活用推進協議会**」を**設置するよう要求すること**が重要です。こうしたコマメな地域の取り組みによって中小企業の要求が自治体のトップや担当者に今以上に直接伝わると思います。まず、トップや職員の意識を変えることが重要です。条例担当のセクションや担当者レベルにとどまらない取り組みかたを工夫しなければなりません。

異グ連は近々「**要望書**」を提出する予定です。

産学官交流サロンのコーナー

第39回三浦半島経済人サロンの開催案内

八幡敬和

日時：H22年09月06日(月) 18:00～20:30 (17:30開場)

場所：神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 参加費：1000円

1、18:00～19:00 テーマ：「**70歳からのまちづくり**」

神奈川県商工労働局産業部商業流通課 商業まちづくりグループ副主幹 鈴木博明氏

2、19:00～20:20 上記テーマについての意見交換と、皆様からの情報発信も歓迎します。

申込：異グ連事務局・八幡敬和 045-633-5142 防衛大学名誉教授・鶴野省三 046-836-6785

第39回新産学公交流サロン “よこはま”

杉本明子

日時：H22年08月18日(水) 18:00～19:00 (暑気払い19:00～21:00)

場所：神奈川中小企業センタービル5階会議室

テーマ：「**認知症について**」医療法人福医会 福島外科クリニック院長 福島 弘毅氏

会費：1000円(ビールおつまみ付)

その他：終わってから暑気払いに野毛の街へ繰り出します(実費)

お土産に可愛いお花をプレゼント

問合せ：神奈川異グ連事務局 織方、杉本 045-633-5142

第28回「西湘サロン」開催案内

吉池正樹

日 時：H22年9月13日（月）18：00～20：00（開場17時30分）場 所：小田原市第三区公民館（今回から新しい会場です）小田原市栄町 1-16-41
栄町1丁目交差点より徒歩1分、「神仏具ストウ商店」と「あげたてっこ」の間です。

話題提供：本サロンは小田原市周辺の方に多く参加いただいておりますが、今回は平塚市を中心にご活躍中の方に話題を提供していただきます。

テーマ1：「共感と調和」・・・「コンセプト開発」に関する共感を得る商品企画の一提案・・・

平塚市生き甲斐事業団 IT同好会 森 謙一氏

テーマ2：「お葬式とは」・・・想いをかたちにして・・・つばさ企画 葬祭プランナー 窪田 薫氏

会 費：1000円（ビール、おつまみ付）

申込問合せ：異グ連事務局・島津俊之、吉池正樹、芝 忠 045-633-5142

おなじみ尾上町サロン（ぶらり参加大歓迎！！）

芝 忠

日 時：原則第一・三金曜日（08月20日、09月03日、17日）17：15～19：30

場 所：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所

話 題：自由に持ちより（テーマの事前予約OK）

問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142

参加費：1000円（現物も大歓迎）

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**シフト21** 【<http://www.shift21.jp/>】

有村 知里

8月定例会は「日本で25番目に入社したい会社～理念経営を貫く人材活用術～」をテーマに、アチーブメント株式会社人材教育コンサルティング部 藤本卓也様にお話をいただきました。増収増益を続ける企業では徹底した理念経営が貫かれており、組織の発展と社員の自己実現の連携が取れています。そのための教育システムの必要性などをお話いただきました。

9月5日（日）～6日（月）に視察研修会を行います。社長公募や訓練費用自己負担の運転士募集など様々なアイデアで再生をはかる「いすみ鉄道」。枇杷という特産品に特化して、農商工連携のセンター機能を持つようになった「道の駅とみうら びわ俱樂部」。2箇所でお話をお伺いする盛りだくさんの研修会です。ぜひご参加ください。

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会（原則第2火曜日）を開催しております。ゲスト参加大歓迎。お問合せは有村まで。

(arimura-c@nifty.com)

シフト21 2010年秋の研修旅行ご案内（会員以外の方も大歓迎）

視察：第3セクター「いすみ鉄道」（赤字・廃線ローカル鉄道に公募で乗り込んだ社長の現実と取り組み）
館山市の「とみうら枇杷俱樂部」（地元の特産“枇杷”を生かした道の駅と地域活性化の関連）

宿泊：小湊温泉「吉夢」 房総の海と山の絶景、海の幸・山の幸を堪能します。

修業：二日目に日蓮誕生寺でam5:50朝のおつとめ、晨朝法話があります。（自由参加）

日程：**9月5日（日）** 8：15横浜駅西口集合 8：30出発

とみうら枇杷俱樂部を視察、昼食、館山崖観音（絶景）、大山千枚田、日蓮誕生寺

9月6日（月）（朝のおつとめ、法話） 8：00発 おさかな村、いすみ鉄道を視察、昼食

笹森観音参拝、横浜へ18：00帰着予定

料金：シフト21会員は¥30,000円、会員外の方は¥32,000円です。（バス代、1泊2食、昼食2）

申込み・問合せ：有村 arimura-c@nifty.com 携帯 090-1854-5334

お申込み期限：8月20日（金）

注）月曜日午後用事のある方は、いすみ鉄道視察後12:22大原駅発“わかしお”で、東京13:36着で帰京可能

第109回日韓ビジネス協議会（7月21日例会）報告

高橋導徳

- 1、企業紹介・・・(有) 色彩環境計画室代表 葛西紀巳子氏（環境色彩デザイナー&アミニティプランナー）
集合住宅、病院、高齢者施設、ホテル、文教施設などの内外装を「アニメティ」をコンセプトに「心理的+生理的+機能的+美的な視点」から論理的・総合的に色彩設計をしている。
- 2、横浜野毛地域飲食店活性化プロジェクトの紹介・・・神奈川異グ連理事 織方盛男氏
東急線が桜木町駅を経由しなくなり、野毛地域の飲食店への来客が減少している。その野毛地域の活性化を復活させるため、野毛飲食店と共同で2007年から取り組んでいるプロジェクトである。
「浮世床にゆ〜す」を発行している。
- 3、神奈川県異業種グループ連絡会議の2010年度・事業計画・・・専務理事 芝 忠氏
6月29日に総会も終了した中で本年度の事業計画の概要について説明された。主な事業計画は地域産学連携、中小製造業の活性化、新環境フォーラム、ソーシャルビジネス、国際交流・連携、中小企業条例活用運動など。
- 4、メイン講師「**韓国の特許に関して**」・・・鍾和特許法律事務所代表 弁理士 朴 鍾和氏
外国からの特許・実用新案・意匠・商標の登録件数が増加している。その中でも意匠の重要性があげられる。比較的侵害の判断がし易い、デッドコピー防止、装置と部品（プリンターとカートリッジ）。米国中心から中国・米国の2極化の傾向にある。日本と韓国の制度には大きな違いはないが審判で**権利範囲確認審判は韓国のみ**である。
韓国への出願に際して日本語から韓国語への翻訳の問題が大きな要素になっている。

第110回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳

8月例会は恒例の工場見学を実施します。見学後暑気払いを開催します。

日 時：2010年08月25日(水) 14:40 京成押上線 四ツ木駅改札前集合

15:00より鉛筆製造工程見学説明、鉛筆資料館見学、質疑応答

訪問先：北星鉛筆株式会社 〒124-0011 東京都葛飾区四ツ木 1-23-11

TEL 03-3693-0777、FAX 03-3697-5827

URL：<http://www.kitaboshi.co.jp>申込先：T/F045-311-0094 高橋迄 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp 携帯 080-3171-4069**まんでんプロジェクト**

千田泰弘

- 7月8日 **長野県テクノ財団主催の航空宇宙セミナー**にてまんでんプロジェクトの活動などを発表した
- 7月9日 **早稲田大学理工学部創立70周年記念行事の一環で開催された航空機産業セミナー**は、カナダケベック州の航空宇宙研究開発コンソーシアムのネット経由でのオンライン参加、元法政大学学長の清成先生によるドイツ航空コンソーシアムの紹介などがあり、日本の事例としてまんでんプロジェクトの紹介を行った。セミナーではパネルディスカッションとして、カナダのような技術開発コンソーシアムの日本における必要性に関し討論が行われた。
- 7月19日-25日 **イギリスファンボロウで開催されたエアショウ**に参加した。まんでん・JASPAの参加はS J A C内のブース、新潟市のブース、中部経済産業局が全国の中小企業のために設営したシャレーの3箇所に参加した。景気の影響から会場全体は一昨年より低調であったが、まんでんプロジェクトは4年連続で欧州のエアショウに出展したことになり、海外に対する知名度は非常に向上した手ごたえを感じた。

お知らせ**平成22年度 神奈川県ものづくり技術交流会 10/13~15**

～異業種交流等事例・発表会（実施予告）～

神奈川県産業技術センターでの慣例のものづくり技術交流会に神奈川異グ連は今年も参加します。

開催日：H22年10月13日（水）13:00～17:00 懇親会は17:15～19:00

場 所：神奈川県産業技術センター

参加・聴講：無料

発表内容：座長 三輪 茂樹氏（神奈川県産業技術センター 企画部戦略的デザイン室 副主幹）

①13:05～13:25 (20分)	異業種交流事例・その1 ーよこはまコラボ倶楽部での交流事例紹介そのⅠー	よこはまコラボ倶楽部会員(根木材木店)	根木 一郎
②13:25～13:45 (20分)	異業種交流事例・その2 ーよこはまコラボ倶楽部での交流事例紹介そのⅡー	よこはまコラボ倶楽部会員(アリコジャパン)	岡 健聡
③13:45～14:05 (20分)	ガス溶断器の使用上の注意点 ー使用者に対するガス溶断器メーカーの支援事例ー	C&Sグループ	指方順一郎
④14:05～14:30 (25分)	海老名サロンの開設と若手経営者の夢 ー製造業の新たな発展のためにー	海老名サロン事務局長 (神奈川県産業技術センター 技術支援推進部 交流相談支援室)	愛 賢司
⑤14:30～14:55 (25分)	研究開発型企業の最近の動向 ー関東学院大学社会連携調査報告ー	神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事	芝 忠
14:55～15:10 (15分)	休憩		
⑥15:10～15:30 (20分)	循環型産業とスマートグリッド ー異グ連新環境フォーラムの形成ー	(株)ジーテック代表	櫻井 孝幸
⑦15:30～15:55 (25分)	新エネルギー発電 ー新しいクリーンエネルギー「トリウム熔融塩発電」の開発ー	(株)インターナショナル トリウム エナジー&熔融塩テクノロジー 取締役	古川 雅章
⑧15:55～16:20 (25分)	新形式外燃機関の開発 ー試作第1号エンジンの試験ー	NPO日本スターリングエンジン普及協会 横浜製機(株) 関根 宗平、須藤 俊美、寺田 聡里	鶴野 省三、小井田 幾夫、海法 俊光
⑨16:20～16:40 (20分)	まんてんプロジェクトの2010年度の活動 ー会員企業による技術展示会の開催報告ー	まんてんプロジェクト会長	瀧澤 清
⑩16:40～17:00 (20分)	中小企業のための補助金獲得の秘訣 ー補助金獲得事例の紹介ー	C&Sグループ	松井 利夫
17:15～19:00	実践的異業種交流会 事例発表者と聴講者・参加者相互の異業種交流会を開催する 主催 神奈川県異業種グループ連絡会議・参加グループ 協力 神奈川県産業技術センター	*****	

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください (無料)
【月】 荒 直孝 ③田中弘一 **【火】** 八幡 敬和 児玉 英二 **【水】** 杉本 明子 (芝 忠)
【木】 松井 利夫 **【金】** ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 **【土、日、祭日】** は休業です。
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5階 神奈川異グ連事務局
T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL : <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail : iguren@kanagawa-iguren.com
皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。
神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!